

令和5年9月15日

白老町議会  
議長 松 田 謙 吾 様

産業厚生常任委員会  
委員長 森 哲 也

所管事務調査の結果報告について

本委員会は、所管事務調査を終了したので、その結果を次のとおり報告します。

記

- 1 調査事項 (1) 常任委員会  
物価高騰が町内産業に与える影響について  
(2) 分科会  
① 株式会社ナチュラルサイエンス  
ナチュラルスキンケア工園ナチュの森視察  
② 白老町商工会との懇談
- 2 調査の方法 (1) 常任委員会 事務調査  
(2) 分科会 視察・懇談
- 3 調査日程 (1) 常任委員会  
令和5年4月25日(火)  
令和5年5月23日(火)  
令和5年7月20日(木)  
(2) 分科会  
令和5年5月23日(火)  
令和5年7月14日(金)
- 4 出席委員  
委員長 森 哲 也 副委員長 久 保 一 美  
委員 貳 又 聖 規 委 員 西 田 祐 子  
委員 及 川 保 委 員 長谷川 かおり

5 説明のために出席した者の職・氏名  
産業経済課長 工藤 智 寿 産業経済課主査 鈴木 領 祐

6 団体からの出席者

① 株式会社ナチュラルサイエンス

取締役工園長 高 畠 章 様

② 白老町商工会

商業部会長 堀 田 尚 史 様

工業・建設業部会長 大 頭 和 彦 様

青年部長 大 塚 雄 祐 様

7 職務のために出席した者の職・氏名

事務局長 本 間 力 主 幹 小山内 恵  
書記 大 石 雄 大

8 調査結果

本委員会は、担当課の説明及び商工会との懇談を行い、物価高騰が町内産業に与える影響についての所管事務調査を終了したので、その内容を次のとおり報告する。

(1) 常任委員会

本調査を進めるに当たり、令和2年度から実施されている新型コロナウイルス感染症拡大による影響アンケートの調査結果及び白老町新型コロナウイルス感染症経済対策相談サポート事業の成果を調査した。

アンケートの調査結果から、物価高騰の影響を受けている町内事業者は約8割に及び、今後の売上高や生産高の減少が予測される事業者は約5割に達することがわかった。

アンケートの設問項目「前回調査から比較した経営状況」に着目すると、令和4年の夏季から秋季にかけて、感染症の規制緩和による人流の増加から回復の傾向がみられていたが、令和5年2月調査では、新型コロナウイルス感染症の影響以外にも、原油価格・物価高騰が影響していることが推測できる結果であった。原油価格・物価高騰は事業経営に影響を及ぼすことが懸念され、対応策としては値上げも選択肢の一つであるが、適正な価格としての信用性やブランド価値の構築が前提となる。

また、人材不足も課題となっており、給料を上げた求人でも人材を確保できない状況が続いている。コロナ関連融資の返済も始まり、今後資金繰りの問題が生じる可能性も課題として挙げられた。

物価高騰や光熱費の高騰、円安等の経済情勢が長期化しているだけでなく、新型コロナウイルス感染症への対応も含め、町では農林業事業者や運送事業者を対象に、「一次産業事業者経営支援事業」、「一次産業事業者物価高騰支

援事業」、「白老町運送事業者等支援事業」などの経済支援事業を進めてきたほか、経済対策として、「キャッシュレス決済促進事業」、「ウェルカムしらおいキャンペーン事業」を実施している。

また、課題への対応として、合同企業相談会などの雇用対策、町の融資制度の周知徹底、白老牛やたらこなどのブランド価値向上に向けた取り組みを行っているほか、SNSの活用や販路拡大、新商品開発といった課題について白老町商工会や事業者の意見を聞きながら事業化を検討している。

### 【委員会意見】

第一に、物価高騰に対する情報の把握・共有を一層確実にする必要がある。

物価高騰は町内産業のみならず、経済や町民生活にも大きな影響を及ぼしていると捉え、少子高齢化、人手不足なども物価高騰につながる要因の一つであると考えられる。こうした情勢下において、新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年度から現在まで事業者アンケートを実施し、町内の状況把握に努めていることを評価する一方、情勢変化が大きいため、関係各課がより情報共有、連携強化を図る必要があると考え、政策立案、事業遂行の体制強化のため、横断的な体制づくりをすべきである。

次に、産業が抱える課題解決の在り方を追求し、地域経済の底上げを図る必要がある。具体的には、農業などの人手不足対策としてSNSを活用したマッチングの実施や、空き家を確保し町内に居住する環境整備の促進のほか、インバウンドの呼び込みを強化し、町内周遊の仕組みの構築や、キャッシュレス決済の推進を図るべきである。一方で手数料が負担となっている事業所もあることから、相談体制の構築など地域振興に努めるべきである。

町内産業は新型コロナウイルス感染症により様々な影響を受け、コロナ禍からの復興もまだ道半ばであるが、ウクライナ侵攻や円安などの影響により、物価や光熱費が高騰し経営に甚大な影響を及ぼしているのが調査の結果としても明白である。改めて物価高騰が町内産業に与える影響の危機感を町内事業者と共有し、解決のための財源確保、財政出動も視野に入れた、町として実効性のある政策立案を早期に実施していくべきあり、それが白老のまちづくりや発展につながっていくと考える。

### (2) 分科会

産業厚生分科会は、株式会社ナチュラルサイエンス(ナチュラルスキンケア工園ナチュの森)の視察及び白老町商工会との懇談を実施した。その内容については、別紙活動報告書のとおりである。

## 産業厚生分科会の活動報告書

令和5年6月23日

産業厚生常任委員会

委員長 森 哲也 様

産業厚生分科会

主査 久保 一美

本分科会は、委員会の広聴活動として下記施設の視察を終了したので、以下のとおり報告いたします。

日程・会場	令和5年5月23日(火) ナチュラルスキンケア工園 ナチュの森
視察テーマ	進出企業の現状について
出席委員名	主査 久保 一美      副主査 森 哲也 委員 及川 保      委員 西田 祐子 委員 長谷川かおり      委員 貳又 聖規
意見・要望事項	下記のとおり
活動報告 (処理・対応含)	<p>●視察の経緯</p> <p>令和3年5月に懇談を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により北海道にも緊急事態宣言が発出され、懇談はやむなく中止とした。</p> <p>本年5月、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことから、旧虎杖中学校校舎をリノベーションした自然と科学のミュージアム「森の工舎」が完成し、営業を開始されるなど話題性も高く、子育て世代を中心に人気スポットとなっている「ナチュの森」を視察した。</p> <p>視察に際しては、高嶋 章取締役工園長より、これまでの主な施設整備状況や営業活動、町内における地域・社会貢献活動について説明をいただいたほか、日頃の活動から感じている課題や要望、今後の展望などを伺った。</p> <p>●課題・要望、今後の展望</p> <p>① 虎杖浜地区地域循環バス運行協議会（6社加盟）が運行する無料循環バス「ゆたら号」は、加盟企業の顧客の利便</p>

	<p>性を図るため運行を開始したが、今では地域の足としても活用されている。「ゆたら号」の安定的な運行継続のため、行政の支援をお願いしたい。</p> <p>② ナチュの森は第1期の基本構想が終了し、周辺を自然を生かした自然体験施設の整備など次の構想を模索していることから、景観を損なう施設周辺の廃屋と違法建築物の撤去及び町道の改修・整備をお願いしたい。</p> <p>③ 施設は自然に囲まれた環境であることから、鹿や熊対策の強化、冬季間の除雪作業の迅速化と質の向上をお願いしたい。</p> <p>●まとめ</p> <p>当該企業の様々な地域・社会貢献活動の取組は、地域への経済効果も大きく、貢献度も高く評価される。</p> <p>挙げられた課題や要望は地域住民にとっての課題・要望でもあり、議会としても現状を把握して認識を深め、議会活動に反映していかなければならないと感じた。</p>
--	---

## 産業厚生分科会の活動報告書

令和5年8月8日

産業厚生常任委員会

委員長 森 哲也 様

産業厚生分科会

主査 久保 一美

本分科会は、委員会の広聴活動として下記団体との意見交換を終了したので、以下のとおり報告いたします。

団体名：白老町商工会（参加者3名）

日程・会場	令和5年7月14日(金) 午後1時～午後2時35分 議会第1委員会室
懇談テーマ	物価高騰による影響など近況と課題、展望について
出席委員名	主査 久保 一美                      副主査 森 哲也 委員 及川 保                        委員 西田 祐子 委員 長谷川かおり                委員 貳又 聖規
意見・要望事項	下記のとおり
活動報告 (処理・対応含)	<p>●物価高騰による影響及び近況</p> <p>1. 食品関連では、多くの食材の価格が上がり続けている状況にあり、世界的な規模で高騰し続けることが見込まれる。</p> <p>2. 運送関連では、売上が減少する中、雇用調整助成金を給料に充てられたことで人員の流出を防ぐことはできたが、コロナ元年と比較すると燃料の高騰などで経費は増加している。</p> <p>また、運送業の労働時間を見直すことで、物流の2024年問題が言われているが、人員増員のためには車両を増やすなどの設備投資が先行することになり、設備投資と増員のタイミングが難しく見極める必要がある。</p> <p>3. 食肉関連では、包装資材の価格が上がっているが、すぐに売価に転嫁することは難しいため使用する資材を変更するなどコスト削減のため努力している。</p> <p>また、コストが上がる一方、枝肉の市場価格は下がっているなど、一次産業的には苦しい状況である。</p>

●団体からの意見・要望等

1. 北海道を世界に発信していく中で、白老町にも新たな事業や雇用の可能性、観光客の流入など波及効果があると思うが、その対応や政策を検討してほしい。
2. デジタル化の影響で製紙業は転換期を迎えており、生産量が減少となる可能性がある。町内には関連する企業も多く、多くの町民への影響が懸念される。
3. 人手不足が大きな課題となっている。いろいろな支援策はあるが、難しい部分も多く、あきらめてしまう事業者もいる。労働力確保のためにも、移住定住促進事業に取り組んでもらいたい。
4. ウポポイを中心に、多くの外国人が白老町を訪れている。インバウンド強化のための支援が必要である。
5. 電子マネー決済の導入により、手数料という新たな経費の負担が大きい。何か支援策を検討してほしい。
6. 今は物を売る時代ではなく、体験を売る時代に変化している。白老町は、楽しい、おいしいなど人を喜ばせたり感動させたりできるものがあふれている町だと思うので、町の可能性を信じて前向きな考えや発想で商工会、役場職員、議員等で連携を図っていきたい
7. 白老の豊かさを実感できるような、町の象徴となる「通り」や「祭り」を作っていけばよいのではないかな。
8. 遊具が使えない公園が多く、子供を遊ばせる場所が少ない。子育て支援として遊具を整備してほしい。
9. 商工会青年部として、子供向けのイベントを企画している。賑わい創出に力を入れていきたい。

●まとめ

どの業種も物価高騰の影響を受けながらも経営努力により事業を継続している状況だが、今のままでは限界があると考えられる。事業が継続できなければ雇用も減り、人口減少対策にも悪影響を与えることが想定されるため、現状に見合った支援策が急務であると強く感じた。